

第7回生物圏科学研究科 食料・環境問題国際シンポジウム 「アジア諸国における安全な食料生産環境の実現」

日 時: 2014年11月1日 (土) 13:00 - 16:30

場 所: 広島大学生物生産学部C206講義室

いつまでも地球で暮らせるように、急増する世界の人口を飢えさせない十分かつ安全な食料をいかにして確保するかは人類に課せられた直近の大きな課題です。

人類の生存に欠かせない食料は、農作物、畜産物、天然資源および養殖の水産物として供給されています。しかしながら、近年の地球温暖化や異常気象によって各地域の伝統的な農作物が栽培に適さなくなり、世界的には農地の砂漠化が進行しています。

一方、アジアの一部地域ではいまだに工業排水、家庭排水が未処理のまま海に排出され、水産養殖にともなう残餌や排泄物による沿岸域の汚染も続いています。

このシンポジウムでは、東南アジアと日本における食料生産の健全で安定的な生産と、環境の保全、気象変動への対応と現状に関する情報を共有するとともに、日本が提供できる技術および教育などの協力についても意見交換します。



13:00 開会のご挨拶

13:10 「ベトナムにおける食の安心・安全の現状」

Dr. Phan Tai Huan (ベトナム ノンラム大学)

13:50 「変動する気候下における南アジアの食料安全保障：スリランカからの事例研究」

Dr. Buddhi Marambe (スリランカ ペラデニア大学)

14:30 休憩 2013年度研究科長裁量経費による助成研究成果報告

14:50 「嫌気処理と流動層熱処理を組み合わせた浸漬による高GABA発芽玄米の調整」

Dr. Ratiya Thuwapanichayanan (タイ カセサート大学)

15:30 「麻痺性貝毒 -水産食品の安全性」

浅川 学 准教授 (広島大学大学院生物圏科学研究科)

16:10 総合討論

16:25 閉会の辞

◆ このシンポジウムは、5研究科共同セミナーの単位（2回分）になります。

[お問い合わせ] 大学院生物圏科学研究科 佐久川 弘

Tel: 082(424)6504 / E-mail: hsakuga@hiroshima-u.ac.jp

